

令和6年度第2回 金沢シビックテック推進協議会 会議概要

日時 : 令和7年2月19日(水) 10:00~11:20

場所 : 金沢市役所第一本庁舎 第3委員会室

出席者: 相羽 大輔 金沢市PTA協議会 会長

小俣 博司 オープン川崎 代表

茂 知一 一般社団法人石川県情報システム工業会 理事

福島 健一郎 一般社団法人コード・フォー・カナザワ 代表理事

松井 くにお 金沢工業大学工学部情報工学科 教授

眞鍋 知子 金沢大学 融合研究域 融合科学系 教授

矢後 智子 NPO法人ネットワークアシストたかおか 副理事長

山口 いづみ NPO法人あかりプロジェクト 代表理事

(五十音順)

事務局 山下市民局長、山田市民協働推進課長、中川市民協働推進課長補佐、神田係長、富岡主事

1. 議案

議案第1号 地域課題解決プロジェクト事業 支援の決定

議案第2号 令和7年度 事業執行の方向性

} 全会一致ですべて承認された

2. 報告

報告第1号 令和7年度 その他事業の方向性

3.委員意見等

議案第1号 地域課題解決プロジェクト事業 支援の決定

- ①学校連絡のペーパーレス化・カレンダー管理
- ②よりそうなかまの冊子の見える化

【委員】

①について、これは金沢市内すべてを対象に開発するのか、特定の学校を対象としているのか。

【事務局】

まずはチームリーダーが役員をしている中学校の育友会内で利用し、そこで有効性を検証したものを、ほかの学校でも利用してもらう想定である。

【委員】

既にプロトタイプのようなものはあるということか。

【事務局】

まだベースのものしかないが、支援決定後に本格的な開発を行う予定である。

【委員】

本企画について育友会や教育委員会との話は行っているのか。

【事務局】

市教育委員会の担当者にも確認を行っており、実は4月から「tetoru」というアプリを市内小中学校で導入予定。

こちらは欠席連絡および学校連絡の閲覧ができる機能のみであり、カレンダー機能等はない。

また、本企画書についても共有を行っており、学校側に負担を求めることはできないため、保護者間でできる範囲で協力しながら運用していく。

【委員】

(①について) お子さんの学年や氏名を登録できるような画面があったが、登録した情報が外に漏れるリスクはないのか。
また、保護者が登録した本人であるかどうかの確認はできるのか。なりすましや悪用の可能性はないのか。

【事務局】

企画書には「ユーザーの個人情報管理に『Firebase』を使う」書かれているがそれ以上は読み取れないため、
そのような必要な対策を行うことを要件として事務局からチームへ伝達することとしたい。

【委員】

開発されたアプリを使えない人や（機器を）持っていない人に対してはどうか。

【事務局】

あくまで現在紙で配布されているものを、アプリでも見られるようにするというものであるため、紙での配布からすべて切り替わるというわけではない。
紙で見たい方はもちろん紙で見られる上で、アプリでも見たい方はアプリで便利に見てもらえるというものである。

【委員】

①について、クラウドサービスを使う場合に今はほとんどコストがかからないとのことだが、この先値上げ等でコストがかかってくるのが懸念される。
開発したシステムを継続していく上で、例えば事業化するようなことは考えているのか。

【事務局】

①について、「Firebase」についても恐らく無料で使える範囲が制限されているが、実際にどれくらいの規模で利用されるかがまだ見えにくい。
今後コストがかかる場合には可能な限り支援金 10 万円で対応いただくが、もしそれ以上コストがかかる場合には別の資金を考える必要がある。

【会長】

評判がよければどんどん広がっていくため、コストがかかり始めると突然提供できなくなってしまう恐れがある。
システムの継続も念頭に入れて、事業化を考えるなど準備をしてもらえるよう事務局からお伝えいただきたい。

【委員】

②について、せっかくならデータ自体をオープンデータとして提供できるような仕組みを検討してほしい。
自治体のオープンデータとして公開し、民間企業でも活用してもらえるとよい。

【事務局】

「よりそうなかま」に掲載している情報は市の福祉健康センターで所管しているため、可能かどうか事務局から確認したい。

【委員】

また、②については Google マップで表示をするだけなので、例えば Glide でアプリとして開発することでいろいろな横展開ができるため検討してほしい。

【委員】

PTA 協議会の立場として、小中学校の学校のお便りのペーパーレス化の現状をお伝えする。冒頭の事務局からお話があった通り、金沢市教育委員会では「tetoru」というお便りを配布するアプリを導入し、来年度から全校で利用が開始される。一部学校では既に運用が始まっていて、「お便りのペーパーレス化」という点においては既に解決されている。

今まで学校からの緊急一斉連絡においては教育委員会公式ではなく PTA が費用負担をして全校で使われていたという前提があった。それが今「tetoru」に代わったという状況で、今後費用負担に関して課題が出た場合に、学校で負担ができない場合には、PTA のような学校関係者が負担するという可能性もある。

そのような状況の中で、どのポイントを解決したいのか、他の地域での課題解決につながっていくことを視点にするのか、方向性を出していく必要がある。

「5374App」のようにオープンソース化したから他の地域でも使われたという前例もある。

今回 Google のサービスをバックグラウンドで使うということは、コストを誰が負担して、データを誰が入れるのかという点も非常に重要な問題であり、しっかりと考える必要がある。

守るのは個人情報だけではない。学校だよりでは DV 被害から逃げてきたご家庭の子どもが映り込まないようにするなどのさまざまな配慮が行われている。

その中で、例えば運動会に行った写真を保護者たちが自由にアップロードするわけにはいかない。学校側にも歓迎される形での導入するためには、そういった配慮をする必要がある。必ずしも実現可能性をマイナスに捉えるだけではなく、良い形で実現されるためには、このようなシビックテックの取り組みが進んでいくためにも、前向きに議論する必要があると思う。

【会長】

「tetoru」でできている部分がある中で何が必要なのか、また運用についてもいろいろなことを考える必要があり、当事者である保護者の方々がどう考えているかも大事であると感じた。

大変多くのご意見・ご質問をいただいた。いくつかこうしたほうが良いというご意見いただいていますのでチームの方に事務局から伝達する形として、支援の可否としては2つとも「可」ということでよろしいか。

(異議なし)

それでは、議案第1号は承認されたこととする。

議案第 2 号 令和 7 年度 事業執行の方向性

【委員】

「小さな IT 相談室」の話が出たので最新情報を補足したい。この対面イベントはオープン川崎で誰でも相談できる場として開催していたが、最近川崎市との協議の中で形態を変えている。「デジタルカフェ」という名前で、スタッフもボランティアを募集して、市民の方々が協力しあってみんなで教え合うという場としている。やはり SNS やデジタルだけでは広まらないため、市民館や図書館の前に机とモニターを出して、「ちょっと覗きに來てね」という形で少しずつ輪を広げようとしている。ただのスマートフォンの使い方から教えており、シビックテックという言葉を全く出さずにカフェという形で協力しながらやっている。広め方の参考にさせていただきたい。 ※参考：<https://www.city.kawasaki.jp/asao/page/0000167609.html>

【委員】

(地域課題解決プロジェクト事業について) 解決したいと思う課題の数がそれほどたくさん提案されているわけではないというところが出発点としてある。この事業をシステム化するにあたり、解決する技術を持ったエンジニアとのマッチングを行うときに、参加してくれるエンジニアの数を増やさなければならぬということ、前回の会議でもお話をさせていただいたが、そもそもシビックテックの取り組みの認知度を高める必要がある。まずは課題を持つ人たちに、このような取り組みで課題解決できる可能性があるということを伝える方策を取っていかないと、課題の投稿数はどうしても増えていかない。この事業が届いていない方へのプロモーションをやっていく必要がある。

アイデアとしては、金沢には公民館を軸とした地域コミュニティがあるため、地域の課題を抱えている人は公民館に関わっていることが多い。そういう人たちはデジタルのことが得意ではなかったり、抵抗感があつたりする人も少なくない。そのあたりうまくクッションを使いながら広げる取り組みをしていく。公民館にシビックテック関係のチラシが置いてあるのは見ているが、この活動が地域の課題につながっているということを認識されていないと思う。

【事務局】

やはりシビックテック活動が地域のための活動ということがまだ知られていない。実際に課題を持つ方にこのような取り組みがあつて解決方法を持った人たちがいるということをもっと周知する必要があると感じる。

【会長】

毎年開催しているシビックテックミーティングと、昔情報政策課時代に開催していたシビックテックサミットとを比べると、公民館などから來られている方々が増えたという感覚がある。市民協働推進課の関わりで地域への広がりはあるものの、そこから定着し、さらなる広がりを見せることがまだない。このような取り組みを継続していけばまた広がっていく可能性もあると感じた。

【委員】

公民館では震災後問題意識を持って防災に取り組まれていたり、「婦人部」が「SDG s 学級」に変わったりしたように、いろいろな取り組みの方向性が変わってきている。例えば地域の除雪の問題が出て LINE グループを作って連絡を取るというのが関の山だが、そこをもっと工夫してこんなことができるんだというような意識づけになると良いと思う。だから、危機管理課が防災の話をしに公民館を回っているように、公民館の会議に行ってもこんな取り組みがあるということの説明して回るといいと思う。

【会長】

キャラバンのように公民館へ説明して回るということ。

【委員】

キャラバンのように公民館を回るというのは良い。実際にそれで間口が広がって、課題の母数が増えていったときに、解決策を検討するということは非常に重要になってくると思う。資料では「企業に所属するエンジニア等に対して参加を促す施策の検討」とあるが、具体的に考えていることや、やっている施策というのはあるのか。

【事務局】

令和5年度に企業向けのデジタルパンフレットを作成しており、石川県情報システム工業会のメールマガジンなどで周知したほか、各イベントで配布している。今後の施策としては、IT 企業などが集まるイベントにブース等を設置して周知を行うなど、直接発信していく必要があると考えている。

【委員】

そうしたときに、活動の紹介だけでなく、シビックテックの活動を通じてどのような成果があったのか具体性の分かる内容で伝えた方がよい。企業に所属しながら活動するということになるため、その方のモチベーションが上がるような伝え方が必要だと思う。現在、第2期目の活動に入ってきている中で、これまで何ができたのかという成果を表せるような周知の仕方を入れたほうがよい。

【会長】

この点について、これまでの成果をエンジニアの方に見せることで参加してもらおうということだが、経営者層などの企業側に見せることでこのような活動に参加させることに価値があることを感じてもらうことも大事だろうか。

【委員】

参加の形態次第だと思う。私は本人が望んでボランティアで参加する形がこの活動には適していると思う。会社として協力されているところは数少ないと認識しているので、やはりエンジニアが自分のモチベーションを持ってこの課題解決に取り組むような形が適していると思う。経営者は考え方がさまざまなので、会社が望んでされるところもあれば、あくまで個人の活動だから関知しないというケースも多いだろう。企業に協力してもらう形があまり馴染まない可能性もあるが、やってみても面白いとも思う。

【委員】

シビックテックをあまり知らない市民から見ると、「地域課題解決プロジェクト」よりは「シビックテックスクール」のようなもののほうが、自分の仕事や団体活動に役に立つかと思えるので参加しやすい。参加すると、意識の高い人たちが熱量を持って楽しいことをやっていて、自分も参加してみたいというような流れが効果的だと感じる。このシビックテックスクールはオンラインでの開催は難しいのか。

また、Instagramでの広報は考えていないのか。

【事務局】

シビックテックスクールの前身である「シビックテック塾」では、当時コロナ禍ということもあり Zoom で開催していた。しかし、操作が分からない人に遠隔で教えるというのは難しい面があると感じたので、可能であればリアルで開催するほうがよいと考える。

Instagram については、現在運用している Facebook との連携も可能なので次年度にまた検討したい。ただし、Code for Kanazawa で運用している「シビックテックカナザワ」というアカウントがあり、そちらに広報の協力をしていただいているところであるため、そちらとの兼ね合いも考えながら令和7年度で検討したい。

【委員】

オンラインで操作説明を行うのが難しいという問題について、難しいのは「実現するための技術を学ぶ場」をオンラインとするのが難しいという話かと思う。これからシビックテックを普及させていく上で、「これまでどんなことがシビックテックという手法で解決されてきたのか」という事例を具体的に知って、自分の課題もこれで解決できるのではないかと思ってもらえるような事例紹介であればオンラインでもできる。

そもそもシビックテックだと言われても、何が地域課題で他の地域ではどう解決されたのかがわからなければ、自分でもできると気づくところまでのギャップは埋まらない。

「5374App」や Code for America の消火栓の事例のようなものは今日も現実的に起きている話であり、そういった日常の課題を解決するためにできている。先程の企画のように、データを Google マイマップに乗せるだけでこれだけ価値のあるものになるというような現実味があれば、自分でもやろうとなると思うので、それを知ってもらうための場はオンラインでも開催できるし、効果を出せるはず。ただし、組み合わせるテーマとの相性もある。

【会長】

オンライン配信のほかには、YouTube の動画コンテンツのようなものでもよいかもしれない。

では、たくさんいただいたご意見をもとに私と事務局の方で議論させていただきながら、細部修正などを行って、令和7年度の事業内容としていきたい。議案第2号については「異議なし」ということでよろしいか。

(異議なし)

それでは、議案第2号は承認されたこととする。

【委員】

久しぶりに「マッチ箱」を見てみると、数か月前の投稿といった感じであまり稼働できていないという状況が確認できた。マッチ箱の広報は現在どのようにされているのか、次年度に向けてどのように変えていきたいのか。

【事務局】

現状については、関連イベントでチラシを配布するなどの広報を行っている。また、今年度はシビックテックミーティングの中で「マッチ箱交流会」という形で課題投稿者を呼んで課題の説明をしてもらってからイベント参加者に議論してもらった。今回はグループディスカッションではなく「Slido」を使ってスマートフォンからコメントを送ってもらい、それをファシリテーターが拾って課題投稿者と議論するという形で行った。

次年度は引き続き関連イベントでの普及啓発をさらに進めていく一方で、イベント参加者以外へのPRをどうするかを検討する必要がある。

【委員】

先程話題に出た公民館へ説明してまわるキャラバンのようなやり方もひとつかと思う。

【委員】

マッチ箱について、「マッチ箱 金沢市」などと検索してもなかなかページにたどり着けず、協議会のページから入ろうとしても少し入り組んでいるように感じたので、市公式ホームページの分かりやすいところに（バナーのようなものを）入れるなどして、「これなんだろう」と興味を引いて押してもらえるような工夫があるとよいと思う。

【事務局】

市のホームページのトップページなどへの掲載は、広報広聴課と調整したい。

また、協議会のページからアクセスしにくいことについてはすぐに対応したい。

【会長】

マッチ箱の課題そのものの投稿が少ないという問題について、課題はもちろん市内にないわけではないので、本来あるけどそこに書き込まれていない課題を持っている方々にうまくアプローチできていないということは間違いない。公民館など課題を持っているところにしっかりと PR していく必要がある。先程提案があった直接出向いて説明を行うというのは有効だと思う。

シビックテックの認知度をあげるという委員のお話と両輪になると思うが、仮にシビックテックは知らないけど課題はいっぱいあるというだけでもマッチ箱は回り始めると感じた。

【委員】

今のマッチ箱は「課題を提供する人」と「解決策を提供する人」が違うから、マッチさせるという考え方で運用していると思う。しかし、自分で課題を見つけて解決したというケースももちろん多くある。

例えば川崎市ではオープンデータを活用して課題を見つけて解決したというのをピッチのような形式でコンテストを行っている。これは課題を見つける人と解決する人が同じであり、このようなパターンもマッチ箱の中に取り入れていき、「こういう課題はこんな解決策があるよ」という見本のような形のものを増やしていくとよい。本来のコンセプトとはずれてしまうかもしれないが、課題解決という意味では同じことなので、そのような考え方も取り入れていくのも必要ではないか。

※参考：川崎市オープンデータ分析コンペティション <https://www.kawasakicity100.jp/event/event-6709/>

【事務局】

前回の協議会でも、実際にどんな課題がどんなツールを使って解決されたかということも載せていくべきという意見をいただいていた。今後のマッチ箱のリニューアルに反映させていきたい。

【委員】

ひとつの例として、保育園の定員の数と人口との比較をした事例がある。オープンデータの分析・可視化を行いながら、気付きを与えるという形での盛り上げ方も必要かと感じている。

【委員】

委員の意見と同じで、解決したい課題が解決された姿を見ることによって現実味を感じられるということは大事かと思う。

加えて、マッチ箱を使うにあたり、会ったことのない人とコミュニケーションを取る場としてはあまりにも匿名性が高すぎるという気がする。この人がどういう人でどんなバックグラウンドなのか分からないところで、自分の課題を詳しく説明していいのかわからないという不安をやはり感じると思う。インシヤルのような名前ばかりで誰かわからない人たちの集団になってしまうとかなり抵抗感を感じると思うので、しっかりと議論をするのであれば実名にするほうがよいと思う。課題はあっても投稿されないという理由というのが恐らくそこにもあるのではないか。

【会長】

今の匿名性の話は、登録のハードルを設けるというよりも、Facebook が昔やっていた実名推奨という姿勢のようなことか。

【委員】

雑談の中から課題を引っ張り上げるスタイルと、現実的にシビックテックで解決できそうな課題を私は持っていて具体的に誰か協力してくれませんかというスタイルがある。その場合は直接会う時間を設けてやりとりしようという次のステップになると思うが、どのあたりのコミュニケーションを増やしたくてこのマッチ箱を設計するのかということを改めて考える必要がある。

【会長】

確かに匿名だと相談しづらいパターンもある。そのあたりもきちんと考えて見直したい。

【委員】

今年度事業を見ると若い人もたくさん参加しているように見えるが、学生へのアプローチはどのようにしているのか。

【事務局】

イベントの際には市内の大学や専門学校へチラシの配布、メールでの案内をしている。実際に今年度のシビックテックミーティングでは学生4名の参加があり、その多くが地域課題解決プロジェクト事業の企画での開発に携わっている。

【委員】

UDC（アーバンデータチャレンジ）など他でも若い人が増えているので、彼らのモチベーションを上手く上げていくことが必要。ひとつはアチーブメントの仕組み（達成・褒める）を入れていくこと。学校以外で第三者が褒めたり認知したりしてあげるということが、学生のモチベーションになるということなので、シビックテックの事業に参加したときにそのような仕組みを入れると、若い人がもっと頑張って参加してくれると思う。

【会長】

市民協働推進課は学生のコミュニティと近い活動もあるので、そういったところとも上手く連携し、シビックテックの成果がしっかりと伝わると、「こういうものに参加すると自分たちのやりたい課題解決につながるかも」と思ってもらえる。そうすることで参加のハードルが下がると思う。

これまでも学生をシビックテックの領域に呼び込もうという試みを行ってきたがうまくいかなかったので、今ほどいただいたの助言を参考にしながら上手く呼び込んでいきたい。

【委員】

学生の参加を促すのであれば時期を考えてほしい。春休みや夏休みは比較的時間があるので、そこを狙い撃ちするようなことも考えていただければと思う。

令和6年度 第2回

金沢シビックテック推進協議会

日時 令和7年2月19日(水) 10:00~11:30

場所 金沢市役所第一本庁舎 第3委員会室

1. 開会

3. 審議事項



議案第1号

地域課題解決プロジェクト事業 支援の決定

議案第2号

令和7年度 事業執行の方向性

3. 報告事項



報告第1号

令和7年度 その他事業の方向性

4. 閉会

委員名簿

区分	氏名	役職	出欠
委員	相羽 大輔	金沢市PTA協議会 会長	出席
委員	小俣 博司	オープン川崎 代表	出席 (オンライン)
委員	茂 知一	一般社団法人石川県情報システム工業会 理事	出席
会長	福島 健一郎	一般社団法人コード・フォー・カナザワ 代表理事	出席
委員	松井 くにお	金沢工業大学工学部情報工学科 教授	出席 (オンライン)
委員	眞鍋 知子	金沢大学 融合研究域 融合科学系 教授	出席
委員	矢後 智子	NPO法人ネットワークアシストたかおか 副理事長	出席 (オンライン)
委員	山口 いづみ	NPO法人あかりプロジェクト 代表理事	出席

審議事項

議案第1号

地域課題解決プロジェクト事業 支援の決定

1. 事業概要・審査基準
2. 各企画概要・支援にかかる事務局案

事業概要・審査基準

「マッチ箱」上に投稿された地域課題について、様々な参加者が協働し、解決プロジェクトの企画書を提出、協議会による審査を経て、支援金10万円を支給。これを原資にしてICTを活用した解決を目指す。

企画審査

- 提出された企画書を協議会で審査、支援の可否を決定する
- 以下の4つの視点から総合的に判断

課題解決力	課題解決につながるか
実現性	実現可能か
継続性	継続的に運用可能か
公益性	公益性があるか

～10/31(木) 課題投稿締切

1 地域課題の投稿
具体的な地域課題（お困りごと）を「マッチ箱」へ投稿します。テーマは自由、小さな課題でもOK。

2 マッチ箱での意見交換
投稿した課題について「マッチ箱」でほかの参加者と解決アイデアや意見の交換を自由に行います。

11/15(金) 19:00～開催予定

3 マッチングイベント
課題応募者や作り手などが課題解決アイデアについてディスカッションを行うイベントに参加します。

4 プロジェクトチーム結成
解決アイデアの実現に向けて協働を行うことが可能な場合はプロジェクトチームを結成します。

～12/27(金) 企画書提出締切

5 企画書提出・支援決定
ICTを活用した解決策の企画書を提出。事務局での審査の上、支援決定されます。

6 プロジェクト始動
プロジェクトチームで協働を進めます。支援決定から8ヶ月程度での実現・公開を目指します。

支援金 10万円 / 1チーム

- 課題解決につながるか
- 実現可能か
- 公益性があるか...などの視点で審査

【過去のプロジェクト実現例】
古紙等回収拠点マッピングアプリ

各企画概要・支援にかかる事務局案

	地域課題	企画の概要	審査基準				支援可否 事務局案
			課題 解決力	実現性	継続性	公益性	
①	学校連絡等の ペーパーレス化・ カレンダー管理	学校から配布される資料をデジタル上で 管理し、どの学年に配布されている 資料であるのかを一目で閲覧することが できるプラットフォームを作成。 行事情報のカレンダー管理機能も盛り込む。	○	○	○	○	可
②	よりそうなかまの 冊子の見える化	「よりそうなかま」(※)に公開されている 石川県内の支援団体や公的機関情報を デジタルマップ上で可視化する。 悩みや目的、活動地域等で絞り込みでき、 施設種別を色分けするなど見やすい工夫を 入れる。 ※ https://yorisou-nakama.net/	○	○	○	○	可

※詳細は配布資料 各「令和6年度地域課題解決プロジェクト事業 解決アイデア企画書」をご覧ください。

議案第2号

令和7年度 事業執行の方向性

1. 地域課題解決プロジェクト事業
2. シビックテックスクール開催事業
3. データを活用した地域課題解決推進事業
4. 情報発信事業

事業執行の方向性

協議会事業について3年を一期とし、期ごとに基本事業を定めるとともに、各事業を毎年度ブラッシュアップし、事業を進めている。

第1期

令和2～4年度

- ・ 地域課題マッチング事業
- ・ オープンデータ拡充事業
- ・ 人材育成事業
- ・ 情報発信事業

第2期

令和5～7年度

- ・ 地域課題解決プロジェクト事業
- ・ データを活用した課題解決の推進
- ・ シビックテックスクール
- ・ 情報発信等事業

1.地域課題解決プロジェクト事業

地域課題解決マッチングボックス「マッチ箱」上で市民や団体、企業等の様々な主体が、地域課題の共有と解決に向けたディスカッションを行う。

解決に向けた協働が可能な場合は、希望者で「プロジェクトチーム」を結成して取り組む。

課題

- 課題の投稿件数を増やしていく必要がある
- 投稿された課題に対して議論が深まるケースが少ない

令和6年度地域課題解決プロジェクト事業

プロジェクト
支援金
10万円

ICTで地域の未来を変える

企画書締切
12/27 金

シビックテックによる 地域課題解決プロジェクト

地域課題解決マッチングボックス「マッチ箱」上に投稿された地域課題について、様々な参加者が協働し、解決プロジェクトの企画書を提出、支援金10万円を原資にしてICTを活用した解決を目指します。

あなたの持つICTスキルやアイデアを使って金沢の地域課題を一緒に解決しませんか？

マッチングイベント 開催決定！

課題投稿者と課題解決に興味がある方で意見交換してプロジェクト化に向けたマッチングを行う 対面イベント

イベント参加申込

開催日
11/15 (金)
19:00-21:00

01 課題投稿者による概要説明

02 解決アイデアを出し合う

03 マッチング成立プロジェクト化へ

こんな課題が居ています

「時間銀行」による孤立対策

公民館スペースの有効活用

小中学校からの連絡のペーパーレス化

その他はこちら

1.地域課題解決プロジェクト事業

令和7年度の方向性

基本的な事業のスキームは令和6年度を踏襲し、オンライン（マッチ箱）だけでなく、オフライン（マッチングイベント等）でのコミュニケーションを強化して協働体制の構築に繋げていく

①課題募集期間の延長

課題の募集開始時期を8月から5月に前倒しする
（従来）8～10月 3か月間 →（予定）5～10月 6か月間

②課題や解決アイデアのブラッシュアップにつなげる対面イベントの検討

地域課題やアイデアを持つ人が集まって自由に話し合えるイベント

例：シビックハックナイト（Code for Kanazawa ほか）
まちのIT相談室（Code for Kawasaki）



シビックハックナイト
(Code for Kanazawa)

2.シビックテックスクール開催事業

ICTを活用した地域課題解決に興味を持つ方を対象に、ノーコードツールを活用したアプリ等の開発や、Googleアプリケーション等の活用に関する講座を開催することで、地域課題を自ら解決できる人材を育成する。

課題

- ・ イベント参加者のさらなる増加
- ・ シビックテック活動への参加促進へどう繋げていくか

※受講者への事後アンケートの結果より

「受講後にPTA、町会等ですぐ実践し、有効に活用できた」といった声が多く、デジタルスキル向上につながっている。

否定的な評価や意見は特になかった。



参加費 無料

・ 明日から使えるデジタルツール!

シビックテックスクール

ICTを活用してよりよいまちをみんなでつくる。育友会、町会、市民団体、サークル等 団体活動で活用できる無料ツールを一気通貫に学びます。

11/16 土 14:00 - 16:30 広報 ・ オープニング ・ Canvaでチラシ作成 ・ Googleフォームで申込フォーム作成 ・ 二次元コード作成	12/14 土 14:00 - 16:30 情報共有 ・ 個人ワーク (チラシ作成) ・ Googleドキュメントで文書・議事録作成 ・ Googleドライブでファイル共有 ・ LINEオープンチャット	12/21 土 14:00 - 16:30 自動化 ・ 個人ワーク (自由作業) ・ Googleスプレッドシートで回答集計 ・ ChatGPT (生成AI) でアイデア出し ・ クロージング
--	---	--

場所 長土堀青少年交流センター 長町3丁目3-3 (学習室3)

講師 Code for KANAZAWA 鎌谷 雄志氏・佐々木 修吾氏

お問い合わせ 金沢シビックテック推進協議会 金沢市民協働推進課内
MAIL: kyoudou@city.kanazawa.lg.jp
TEL: 076-220-2026

シビックテックとは? Civic (市民) と Tech (テクノロジー) をかけ合わせた造語。行政サービスだけでは解決が難しい地域のさまざまな課題をICTを活用して市民みんなで解決していく活動。

詳細・申込



2.シビックテックスクール開催事業

令和7年度の方向性

- ・引き続き、実務に則した手軽に利用可能なデジタルツールに関する講座開催を行う
- ・シビックテック活動への参加促進へと繋げる内容を検討する

参考：過去講座内容

令和2～4年度 「シビックテック塾」 ノーコードアプリ開発

令和5年度 「シビックテックスクール」 ノーコードアプリ開発、Googleツール

令和6年度 「シビックテックスクール」 Canva、Googleツール、LINEオープンチャット、ChatGPT

3.データを活用した地域課題解決推進事業

市民や市民団体等が、自らの課題解決に生かすため、データの収集や活用方法など、データの基礎について学ぶワークショップを主としたイベントとして「オープンデータデー」を開催する

課題

特になし

※ 3月2日開催予定のため、開催後の参加者アンケートなどの結果を見て次年度以降の内容に反映していく

オープンデータデーいしかわ 2025

あなたのアイデアを地図に！
データを活用した地域課題解決
デジタルマップ制作ワークショップ

データで描く！あなたの未来地図

近年、わたしたちはデータに囲まれて生活しています。それらを積極的に活用することで、地域が抱えるさまざまな課題を解決できる可能性が広がっています。今回は、行政等が公開しているオープンデータと、無償利用できる「Googleマップ マイマップ」を活用した誰でもできる「デジタルマップ」の制作について学びます。

日時	2025年3月2日 日 14:00 - 17:00
場所	金沢未来のまち創造館 金沢市野町3-11-1
参加費	無料
対象者	どなたでも
持ち物	PC および スマートフォン

プログラム 登壇者・講師

マップを使ったデータ分析・活用入門	羽生田 文登 氏 Code for Noto 代表理事 データアナリスト
オープンデータ活用 石川県の現状	山崎 花穂 氏 石川県デジタル推進監室
地域課題を考えるワークショップ	北野 菜穂 氏 株式会社エポータルテック 取締役 (株)アスコエポータルテック
オープンデータデー特別講演	福島 健一郎 氏 Code for Kanazawa 代表理事 アソシエーション(株)代表取締役 デジタル庁オープンデータ推進員
デジタルマップ制作ワークショップ (Googleマップ)	道谷 輝志 氏 佐々木 博昌 氏 Code for Kanazawa

オープンデータデーとは？
毎年世界中で開催されるオープンデータの祭典
(誰でも二次利用できる公開された行政機関などの公共データ)

金沢シビックテック 推進協議会 / 金沢市

(所在地) 金沢市広域1-1-1 (金沢市市民協働推進課内)
(サイト) <https://kanazawa-civic-tech.jp/opendata/>
(問合せ) kyoudou@city.kanazawa.lg.jp / 076-520-2026
(協 力) Code for Kanazawa / Code for Noto
(後 援) 石川県 / 白山市

いますぐ参加申込!

3.データを活用した地域課題解決推進事業

令和7年度の方向性

- ・「オープンデータデイ」（3月第一週）にあわせたイベントを継続する
- ・データの「活用」を重視し、ハンズオンを含めたより実践的なデータ活用を学べる内容とする。

参考：過去開催内容

令和2～4年度	「オープンデータラウンドテーブル」	市民や企業等と行政が集まり、データ公開に向けた議論を行う
令和5年度	「市民のためのデータ活用講座」	BIツール「Tableau」によるデータ活用体験
令和6年度	「オープンデータデイいしかわ」	データ活用講演、オープンデータを活用したGoogleマップ制作体験

4.情報発信事業

シビックテック及び当協議会の事業について発信を行い、市民へのシビックテックの浸透を図る。

課題

- ポータルサイトのページビュー数が伸び悩んでいる
- Facebookのフォロワー数等が伸び悩んでいる
- デジタル関係に馴染みがない方々へ周知する手段が限られている



4.情報発信事業

令和7年度の方向性

- 市民へのシビックテック活動のさらなる普及啓発のため、SNS等による広報強化について検討を行う。
(例：関連イベントでのさらなる活動周知、SNS等での有料広告の掲載など)
- 民間企業や企業に所属するエンジニア等に対して、シビックテック活動への参加を促す施策について検討を行う。

報告事項

報告第1号

令和7年度 その他事業の方向性

※ 協議会事業以外の関連する市主催事業

1. シビックテックミーティングの開催
2. 地域課題解決プラットフォーム「マッチ箱」の運用
3. 市民活動DX推進事業

1.シビックテックミーティングの開催

地域の市民や団体等を主な対象とし、シビックテックに取り組む方々や興味がある方々と、地域課題を持つ方々が実際に顔をあわせ、協働につなげるためのイベントを開催する。

課題

イベント参加者のさらなる増加

令和7年度の方向性

引き続き、地域の市民や団体等を主な対象としたシビックテック普及啓発イベントの開催について検討を行う。

CivicTech Meeting KANAZAWA 2024
市民とICTで地域の防災を一步進めよう!

令和6年1月の能登半島地震、9月の豪雨と災害が続く石川県。今年のシビックテックミーティングは、災害に対する事例をもとに、ICTを活用したこれからの防災を、市民みんなで考えてみます。

シビックテック CivicTechとは?
Civic(市民)とTech(技術)をかけた造語です。行政サービスだけでは解決するのが難しい、地域の様々な課題をICTを活用し市民みんなで解決していく活動です。

タイムテーブル

12:30 ~	受付
13:00	オープニング
13:05	事例紹介 能登半島地震におけるシビックテックの取り組み (一社)コードフォーカナザワ 代表理事 福島 健一郎 氏
13:15	事例紹介 デジタルツイン×シビックテックによる災害対応 青柳デジタル戦略局 専任 杉本 直也 氏
13:55	事例紹介 能登半島地震から考えるフェーズフリーな金沢 (公財)ほくりくみらい基金 代表理事 永井 三枝子 氏
14:15	グループディスカッション グループに分かれてICTを活用した防災について話し合います
14:55	休憩
15:00	マッチ箱交流会 ・マッチ箱とは? ・みんなで解決してみよう! ・投稿してみよう!
15:50	クロージング 懇話会あり(希望者のみ・無料)

公式サイトにて最新情報を随時更新しています
シビックテックカナザワ <https://civictechsumit.jp/>
参加申込フォーム

お問い合わせ 金沢市市民協働推進課 MAIL/kyoudou@city.kanazawa.lg.jp
〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号 TEL/076-220-2026 FAX/076-260-1178

2.地域課題解決プラットフォーム「マッチ箱」の運用

地域課題の解決に向けて、市民や団体等がディスカッションを行い、解決に向けた協働を行うためのプラットフォームとして運用を継続する。

課題

- 課題の投稿件数を増やしていく必要がある
- 投稿された課題に対して議論が深まるケースが少なく、解決に向けた協働まで結びつきにくい

※過去1年間の課題投稿件数：8件

上記内、解決された件数：4件

(ツールの紹介等で解決したケースも含む)

The screenshot shows the Kanazawa Matchbako website. The header includes the site name 'Code for Kanazawa · 金沢市' and 'Kanazawa Matchbako'. There are navigation tabs for '課題の検索' (Search Topics) and 'メンバーの検索' (Search Members). The '課題の検索' section shows counts for '最新の課題' (30), '話題になっている課題' (27), and '全ての課題' (30). The 'メンバーの検索' section shows counts for '全てのメンバー' (173) and various categories like 'プログラミング' (12), 'デザイン' (1), 'プロジェクト管理' (8), '防災' (7), '子育て' (8), '教育' (11), '介護' (1), '観光' (6), 'まちづくり' (9), and 'オープンダイアログ' (2). The main content area displays a welcome message 'Kanazawa Matchbako へようこそ' and two buttons: '応募・議論のためにスキルを登録する' (Register skills for application and discussion) and '課題を作成して募集・議論を開始する' (Create a topic to start recruitment and discussion). Below this, there are sections for '全ての課題の更新状況 (最新10件ごと)' (Update status of all topics, latest 10 items) and '【孤独・孤立支援】金沢に時間銀行を。(最新10件ごと)' (Loneliness and isolation support: Time Bank in Kanazawa, latest 10 items). The update status section lists recent comments from users like '金沢シビックテック推進協議会' and 'Takumi'. The time bank section lists comments from '内島駿介' and 'YT'.

2.地域課題解決プラットフォーム「マッチ箱」の運用

令和7年度の方向性

- ・引き続き運用を継続するとともに、オフラインを併用した交流や周知の強化について検討を行う。
- ・活用のシチュエーションを例示するとともに使い方のさらなる周知を行う。



令和6年度 マッチ箱交流会
(シビックテックミーティングの中で開催)



マッチ箱の課題投稿者が課題について発表
参加者との意見交換を行った

3.市民活動DX推進事業

地域活動のDXに資するために作成した「地域活動デジタル活用ガイド」を活用し、「地域デジタルリーダー養成講座」を展開することで、地域団体のデジタル化を推進する。

課題

講座の参加者が限定的である。

令和7年度の方向性

引き続き、講座の開催を行うとともに、地域でのデジタル化推進を牽引する人材の創出・定着についても検討を行う。



参考資料

令和6年度 事業報告

1. 地域課題解決プロジェクト事業
2. シビックテックスクール開催事業
3. データを活用した地域課題解決推進事業
4. 情報発信事業
5. その他事業

1.地域課題解決プロジェクト事業

課題募集

- 募集期間：令和6年8月5日～10月31日
- 募集内容：生活の中でのお困りごと等、地域課題を「マッチ箱」に投稿
- 投稿数：5件（同募集期間内）※過去投稿の再議論含む

投稿された課題

- ① よりそうなかまの冊子の見える化
- ② 学校連絡のペーパーレス化
- ③ 公民館の貸出スペースの有効活用
- ④ 金沢に時間銀行を
- ⑤ 終末期患者の孤独・孤立解消

シビックテックで解決!

プロジェクト 支援金 10万円

地域のお困りごと大募集!

課題投稿 10.31 締切

地域課題＝お困りごとを教えてください

地域課題解決マッチングボックス「マッチ箱」上で解決に取り組みたい方とアイディアセッション！さまざまな参加者が協働して解決を目指します。

※各市内の課題限定 ※市内参加・優先・優待あり

古紙回収の場所はどこだろう？ 病院の対応状況を調べたい
トイレのある公園はどこ？ 用水の転落事故がこわい...

地域課題解決マッチングボックス みんなで
それ、**マッチ箱**で解決しませんか？

～10/31まで 課題投稿締切～

- 1 地域課題の投稿
各市内の地域課題（お困りごと）を「マッチ箱」で投稿していただきます。
※過去投稿は再議論できません。
- 2 マッチ箱での意見交換
投稿した課題について「マッチ箱」でほかの参加者と解決アイデアや意見の交換も自由に行います。
- 3 マatchingイベント
地域課題解決のアイデアを共有し、解決のヒントを探ります。
※お申し込みいただいた課題は優先的に参加します。
- 4 プロジェクトチーム結成
解決アイデアの実現に向けて協働を行うことが可能な場合はプロジェクトチームを結成します。
- 5 企画書提出・支援決定
10/31まで活動した地域課題の企画書を提出し、支援決定の可否を決定します。
支援金 10万円・1チーム
・課題解決につながる
・実現可能性
・公益性があるか...などの観点で審査
- 6 プロジェクト始動
プロジェクトチームで協働を進めます。
支援決定から8か月程度での使用・公開を目標とします。

【過去のプロジェクト実現例】
古紙回収促進会マッチングアプリ

※活動サポートセンター事務局
〒921-8577 金沢市北區1-1-1 市民協働推進課
TEL: 076-821-2025 FAX: 076-821-1176
MAIL: kankyokusei@city.kanazawa.lg.jp

※活動サポートセンター事務局
〒921-8577 金沢市北區1-1-1 市民協働推進課
TEL: 076-821-2025 FAX: 076-821-1176
MAIL: kankyokusei@city.kanazawa.lg.jp

1.地域課題解決プロジェクト事業

マッチングイベント開催

- 開催日時 : 令和6年11月15日(金) 19:00~21:00
- 開催内容 : 課題投稿者と作り手で意見交換、プロジェクト化に向けたマッチング
- 参加者数 : 14名 (課題投稿者3名、作り手11名)
- マッチング数 : 4件 (発表課題5件のうち)



課題投稿者による内容説明



課題ごとに興味のある人が集まってディスカッション



Slackワークスペースを参加者へ提供プロジェクト進行に活用されている

1.地域課題解決プロジェクト事業

企画募集

- 募集期間：令和6年11月15日～令和7年1月12日（期間延長）
- 募集内容：ICTを活用した解決アイデアの企画
- 応募数：2件
- 企画審査：協議会による審査
- 採択後：支援金10万円支給 / 1チーム

応募企画

- ① よりそうなかまの冊子の見える化
- ② 学校連絡のペーパーレス化

→ 審議事項にて企画審査をお願いします

公式シビックテック推進協議会 令和6年度 地域課題解決プロジェクト事業

プロジェクト支援金 **10万円** ICTで地域の未来を変える 企画書締切 **12/27** 金

シビックテックによる地域課題解決プロジェクト

地域課題解決マッチングボックス「マッチ箱」上に投稿された地域課題について、様々な参加者が協働し、解決プロジェクトの企画書を提出、支援金10万円を原資にしてICTを活用した解決を目指します。

あなたの持つICTスキルやアイデアを使って金沢の地域課題を一緒に解決しませんか？

マッチングイベント 開催決定！

課題投稿者と課題解決に興味がある方で意見交換してプロジェクト化に向けたマッチングを行う対面イベント

イベント参加申込

開催日 **11/15** (金) 19:00~21:00

- 01 課題投稿者による概要説明
- 02 解決アイデアを出し合う
- 03 マッチング成立プロジェクト化へ

その他はこちら [シビックテック](#)

こんな課題が届いています

- 「時間銀行」による孤立対策
- 公民館スペースの有効活用
- 小中学校からの連絡のペーパーレス化

〒920-8577 金沢市広坂1-1-1 市民協働推進課内
TEL: 076-220-2026 FAX: 076-260-1178
Mail: kyoudou@city.kanazawa.lg.jp

～10/31(木) 課題投稿締切

- 1 地域課題の投稿**
具体的な地域課題（お困りごと）を「マッチ箱」へ投稿します。テーマは自由、小さな課題でもOK。
- 2 マッチ箱での意見交換**
投稿した課題について「マッチ箱」でほかの参加者と解決アイデアや意見の交換を自由に行います。
- 3 マッチングイベント**
11/15(金) 19:00～開催予定
課題応募者や作り手などが課題解決アイデアについてディスカッションを行うイベントに参加します。
- 4 プロジェクトチーム結成**
解決アイデアの実現に向けて協働を行うことが可能な場合はプロジェクトチームを結成します。
- 5 企画書提出・支援決定**
ICTを活用した解決策の企画書を提出。事務局での審査の上、支援決定されます。
- 6 プロジェクト始動**
プロジェクトチームで協働を進めます。支援決定から8か月程度での実現・公開を目指します。

～12/27(金) 企画書提出締切

支援金 **10万円** / 1チーム

- 課題解決につながるか
- 実現可能か
- 公益性があるか...などの視点で審査

【過去のプロジェクト実現例】
右紙毎回収拠点マッチングアプリ

「シビックテック」とは？
市民がテクノロジーを活用して、地域が抱える課題を解決しようとする取り組みや考え方。全国各地で活動が拡大しています。

〒920-8577 金沢市広坂1-1-1 市民協働推進課内
TEL: 076-220-2026 FAX: 076-260-1178
Mail: kyoudou@city.kanazawa.lg.jp

2.シビックテックスクール開催事業

開催概要・受講生募集

地域活動に参加している方、シビックテックや地域課題解決に興味がある市民を主なターゲットにして募集を行った

- ・ 開催日時：令和6年11月16日、12月14日、12月21日 各土曜日
14:00-16:30（全3回）
- ・ 開催場所：長土塀青少年交流センター 学習室3
- ・ 募集期間：令和6年10月14日～11月13日
- ・ 参加者数：延べ61名（第1回20名、第2回21名、第3回20名）
- ・ 講座形式：対面による開催



参加費 無料

明日から使える デジタルツール!

シビックテック スクール

ICTを活用してよりよいまちをみんなでつくる。
育友会、町会、市民団体、サークル等 団体活動で活用できる無料ツールを一気通貫に学びます。

11/16 土	12/14 土	12/21 土
14:00 - 16:30	14:00 - 16:30	14:00 - 16:30
広報	情報共有	自動化
<ul style="list-style-type: none">・ オープニング・ Canvaでチラシ作成・ Googleフォームで申込フォーム作成・ 二次元コード作成	<ul style="list-style-type: none">・ 個人ワーク（チラシ作成）・ Googleドキュメントで文書・議事録作成・ Googleドライブでファイル共有・ LINEオープンチャット	<ul style="list-style-type: none">・ 個人ワーク（自由作業）・ Googleスプレッドシートで回答集計・ ChatGPT（生成AI）でアイデア出し・ クロージング
場所	講師	
長土塀青少年交流センター 長町3丁目3-3（学習室3）	Code for KANAZAWA 雄谷 峰志氏・佐々木 修吾氏	
お問い合わせ	シビックテックとは？	詳細・申込
金沢シビックテック推進協議会 金沢市市民協働推進課内 MAIL: kyoudou@city.kanazawa.lg.jp TEL: 076-220-2026	Civic（市民）とTech（テクノロジー）をかけた造語。 行政サービスだけでは解決が難しい地域のさまざまな課題をICTを活用して市民みんなで解決していく活動。	

2.シビックテックスクール開催事業

講座内容

昨年度からの変更点

昨年実施したGoogleツールの活用講座をさらに発展させ、Canvaでのチラシ作成も組み込み、より実践的な内容にリニューアル

開催結果

参加者はPTAや町会などで既に課題感を持っている方が多く、受講のモチベーションが高かった。そのため、参考程度に紹介した動画作成などにも、熱心に取り組んでいた。

日程	日時	内容
第1回	11/16(土) 14:00 ~ 16:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ オープニング：シビックテックとは ・ オリエンテーション：全3回構成説明 ・ Canvaでチラシ作成 ・ Googleフォーム作成 ・ 二次元コード作成、チラシ完成 ・ LINE オープンチャットで共有
第2回	12/14(土) 14:00 ~ 16:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人ワーク（チラシ・フォーム作成） ・ Googleドキュメントで議事録作成 ・ Googleドライブでファイル共有 ・ LINEオープンチャットで共有
第3回	12/21(土) 14:00 ~ 16:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人ワーク続き（自由作業・質問） ・ Canvaで動画作成 ・ Googleフォーム回答 ・ Googleフォーム集計 ・ ChatGPT体験（アイデア出しなど） ・ クロージング

2.シビックテックスクール開催事業



シビックテック説明・講義のようす



講師によるハンズオンのサポート



学生ボランティア「ICT推進員」によるフォロー



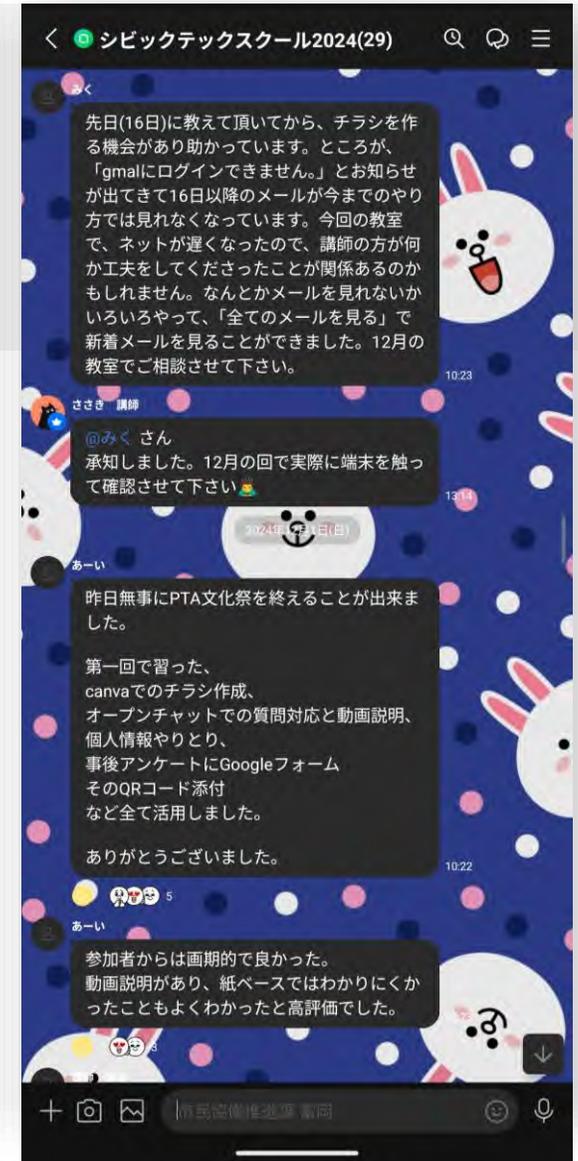
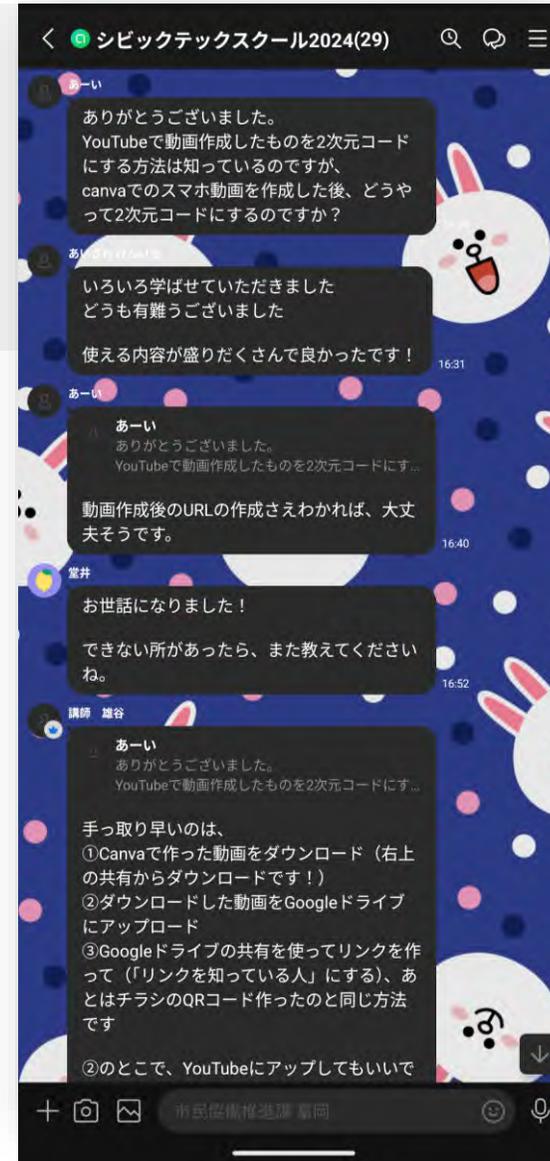
受講者が作成したチラシを会場で共有

2.シビックテックスクール開催事業

講座終了後のフォローアップ

受講者用のLINEオープンチャットを開設。
学んだことを実践して分からない点などを
講師へ質問できる場所を設けた。

→ 参加者の技術の定着につながる



2.シビックテックスクール開催事業

開催成果

仕事やPTA活動等にさっそく活用しているという参加者も多く、地域活動のブラッシュアップにつながった。

※アンケート回答抜粋

- いろいろと学ばせていただいたことを**PTAでも活用**しています。また、今回はうちのPTAメンバーも参加してくれました。もっといろいろな人に学んでほしいと思っています。
 - **実際に保護者会等で活用されている方が講師**をされているので、すごく参考にしたいことが多く興味が広がりました。
 - 今回教えて頂いた内容は**職場、学校活動、部活関係、プライベート**と応用ができることばかりで毎回の講習後に自宅で試すのが楽しかったです。
 - 今回**自分の仕事とタイムリーにリンク**していて、とても有効に活用できました。
- 否定的な評価や意見はなかった

3.データを活用した地域課題解決推進事業

開催概要

- ・ イベント名：オープンデータデイいしかわ2025 ～データで描く！あなたの未来地図～
【後援】石川県・白山市 【協力】Code for Kanazawa・Code for Noto
※3月第一週の「オープンデータデイ」にあわせて開催。石川県・白山市との共同企画。
- ・ 開催日時：令和7年3月2日(日) 14:00 - 17:00
- ・ 開催場所：金沢未来のまち創造館 多目的室1
- ・ 募集期間：令和7年2月1日～2月28日(募集40名程度)

昨年度からの変更点

- ・ 世界的な「オープンデータデイ」イベントとして開催を行うことで、市外にも金沢市のシビックテック活動を周知できる
- ・ 石川県・白山市の協力を得て県内へ募集を広げることにより、より広く広報を行えるだけでなく、市内でのシビックテック人材の交流を促すことができる



オープンデータデイいしかわ 2025

あなたのアイデアを地図に！
データを活用した地域課題解決
デジタルマップ制作ワークショップ

データで描く！あなたの未来地図

参加無料

2025年3月2日(日)
14:00 - 17:00

金沢未来のまち創造館
金沢市野町3-11-1

[主催] 金沢シビックテック推進協議会/金沢市
[後援] 石川県/白山市

3. データを活用した地域課題解決推進事業

開催内容

市民や市民団体等がデータの力を使って、地域の課題を可視化し、より良いまちづくりに貢献できることを目指す。Googleマップのマイマップ機能を活用したハンズオンを通して、データ活用への理解を深め、実際に地図を作成することで、地域課題解決への関心を高める。

プログラム	担当	内容
マップを使ったデータ分析・活用入門	Code for Noto 代表理事 羽生田 文登 氏	データの基礎知識、データ活用事例紹介、地域の課題解決への貢献
オープンデータ活用 石川県の挑戦	石川県デジタル推進監室 山崎 祐輔 氏	オープンデータとは、オープンデータポータル、データ連携基盤
地域課題を考えるワークショップ	アスコエパートナーズ 取締役 北野 菜穂 氏	グループワーク形式で、参加者同士で地域課題を共有し、「デジタルマップで可視化したい内容」を検討 ※冒頭「マッチ箱」紹介
オープンデータ日特別講演	Code for Kanazawa 代表理事 福島 健一郎 氏	オープンデータの活用、能登半島コネクトマップ、地図を使った市民活動
デジタルマップ制作ワークショップ	Code for Kanazawa 雄谷 峰志 氏・佐々木氏 修吾 氏	Googleマイマップ機能の概要説明、活用事例紹介 ワークショップで検討した内容をもとに、Googleマイマップを使って、地域課題を可視化したオリジナル地図を作成

4.情報発信事業

シビックテックポータルサイト <https://kanazawa-civic-tech.jp>

- ①協議会事業の紹介 ————— 金沢シビックテック推進協議会とは
地域課題プロジェクト事業
データを活用した地域課題解決推進
シビックテックスクール
- ②シビックテック人材バンク ————— シビックテック人材の紹介・募集
- ③他地域事例集 ————— 他の自治体等での活動事例等の紹介
- ④シビックテック関連リンク集 ————— 全国のCode for 団体及び関連団体の紹介
- ⑤お知らせ ————— 協議会事業等についてのお知らせを随時掲載



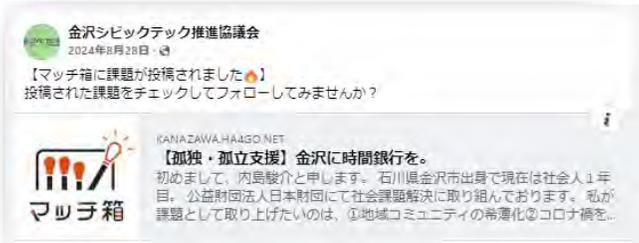
ページビュー数

対象年	ページ閲覧数	対象期間
令和6年	8,165 view	令和6年1月1日～令和6年12月31日
令和5年	8,082 view	令和5年1月1日～令和5年12月31日
令和4年	8,451 view	令和4年1月1日～令和4年12月31日

4.情報発信事業

Facebookページ

- ・ フォロワー : **100名** (令和7年2月12日時点)
- ・ 投稿件数 : **12件** (令和6年1月1日~令和6年12月31日)

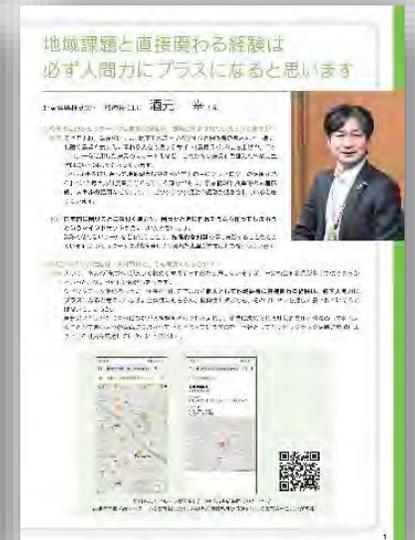


4.情報発信事業

企業向けPR用デジタルパンフレット（令和5年度制作）

IT関係企業及び企業に勤務するエンジニア等を対象に、シビックテックの紹介や参加するメリット等を紹介することで、シビックテック活動への参加を促すデジタルパンフレット

- 概要 : A4 6ページ（PDF形式）
- 主な内容 : シビックテックとは、関係者インタビュー、シビックテック活動に参加するには
- 公開時期 : 令和6年3月
- 公開方法 : ホームページ、SNS等で公開するとともに、石川県情報システム工業会メールマガジンにて配布。その他関連イベントで印刷して配布。



5.その他事業：シビックテックミーティングの開催

開催概要

令和5年度より「シビックテックサミット」から「シビックテックミーティング」へリニューアル。今回は、令和6年に相次いで発生した災害を受け、「防災+シビックテック」をテーマとして、シビックテックが今できることを考えた。

- 日時：令和6年11月2日（土）13:00～16:00
- 場所：金沢未来のまち創造館
- 参加者：27名（自主防災組織9名、IT企業5名、学生4名、官公庁4名ほか）



CivicTech Meeting KANAZAWA 2024
シビックテックミーティングカナザワ

防災 + Civic Tech

参加費 無料

市民とICTで地域の防災を一步進めよう!

日時 2024年11月2日(土) 13:00-16:00 (受付12:30~)

同時開催
金沢未来のまち創造館
防災+ICT推進協議会
パラマッ子箱
交流会

会場 金沢未来のまち創造館
石川県金沢市野町3丁目11-1
TEL/076-280-3115

JR金沢駅から北陸鉄道路線バスにて「野町」下車徒歩5分
北陸自動車道金沢西ICから20分

シビックテックカナザワ <https://civictechsumit.io/> 参加申込フォーム ▶

5.その他事業：シビックテックミーティングの開催

プログラム

- ① オープニング
- ② 事例紹介1：能登半島地震におけるシビックテックの取り組み
(コード・フォー・カナザワ 福島 健一郎 氏)
- ③ 事例紹介2：デジタルツイン×シビックテックによる災害対応
(静岡県デジタル戦略局参事 杉本直也 氏)
- ④ 事例紹介3：能登半島地震から考えるフェーズフリーな金沢
(ほくりくみらい基金 代表理事 永井 三岐子 氏)
- ⑤ グループディスカッション：ICT を活用した防災について意見交換
- ⑥ マッチ箱交流会：地域の課題をみんなで投稿・解決しよう！
- ⑦ クロージング・交流会



CivicTech Meeting KANAZAWA 2024
市民とICTで地域の防災を一步進めよう!

令和6年1月の能登半島地震、9月の豪雨と災害が続く石川県。
今年のシビックテックミーティングは、災害に対する事例をもとに、
ICTを活用したこれからの防災を、市民みんなで考えてみます。

シビックテック CivicTechとは?
Civic(市民)とTech(技術)を掛けあわせた造語です。
行政サービスだけでは解決するのが難しい、地域の様々な課題を
ICTを活用し市民みんなで解決していく活動です。

タイムテーブル

12:30 ~	受付
13:00	オープニング
13:05	事例紹介 能登半島地震におけるシビックテックの取り組み (一社)コードフォー・カナザワ 代表理事 福島 健一郎 氏
13:15	事例紹介 デジタルツイン×シビックテックによる災害対応 静岡県デジタル戦略局 参事 杉本 直也 氏
13:55	事例紹介 能登半島地震から考えるフェーズフリーな金沢 (公財)ほくりくみらい基金 代表理事 永井 三岐子 氏
14:15	グループディスカッション グループに分かれてICTを活用した防災について話し合います
14:55	休憩
15:00	マッチ箱交流会 -マッチ箱とは? ・みんなで解決してみよう! ・投稿してみよう!
15:50	クロージング 懇話会あり(希望者のみ・無料)

公式サイトにて最新情報を随時更新しています
シビックテックカナザワ <https://civitechkanazawa.jp/>

お問い合わせ 金沢市市民協働推進課 MAIL/kyoudou@city.kanazawa.lg.jp
〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号 TEL/076-220-2026 FAX/076-260-1178

参加申込フォーム 

5.その他事業：シビックテックミーティングの開催



能登半島コネクトマップの紹介



3次元点群データに関する講演



グループディスカッション



マッチ箱交流会



参加した学生による発表



終了後に参加者同士で情報交換

5.その他事業：シビックテックミーティングの開催

開催成果

- 参加者の積極的な参加姿勢が伺え、好評の声をいただいた。
- シビックテック活動をされている方やエンジニアだけでなく、学生や自主防災組織や地域活動に参加されている方など、さまざまな属性の方が意見交換、交流を行う機会となった。
- Slido（リアルタイムコメントツール）にも50以上のコメント
- イベント後の交流会には15名近くの方が参加
- 今回参加した学生3名が地域課題解決プロジェクトに参加



5.その他事業：地域課題解決プラットフォーム「マッチ箱」の運用

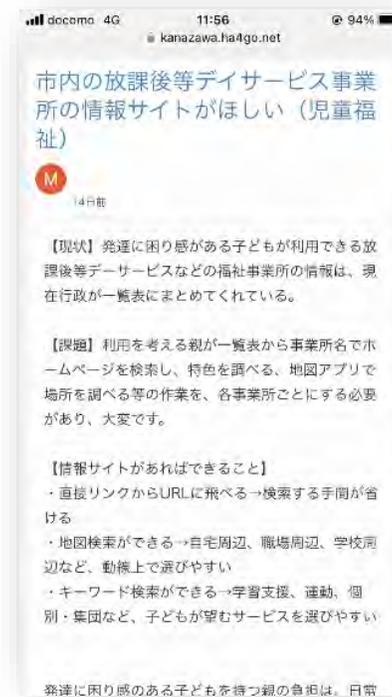
市民や団体、企業、シビックテックコミュニティ、市など、課題を持つ方々と一緒に取り組んでみたい方が集まってディスカッションを行い、解決に向けた協働を行うためのプラットフォームとして本格運用を開始した。

概要

- 本格運用開始日：令和5年7月24日（月）
- 投稿課題数： **30件**（令和7年2月5日 現在）
- 登録者数： **173名**（令和7年2月5日 現在）

投稿された主な課題

- 金沢に時間銀行を（孤独・孤立支援）
- 終末期患者のオンラインコミュニティ
- 公民館の貸出スペースの有効活用
- 空き家の管理
- 町会役員間の情報共有に適したツール

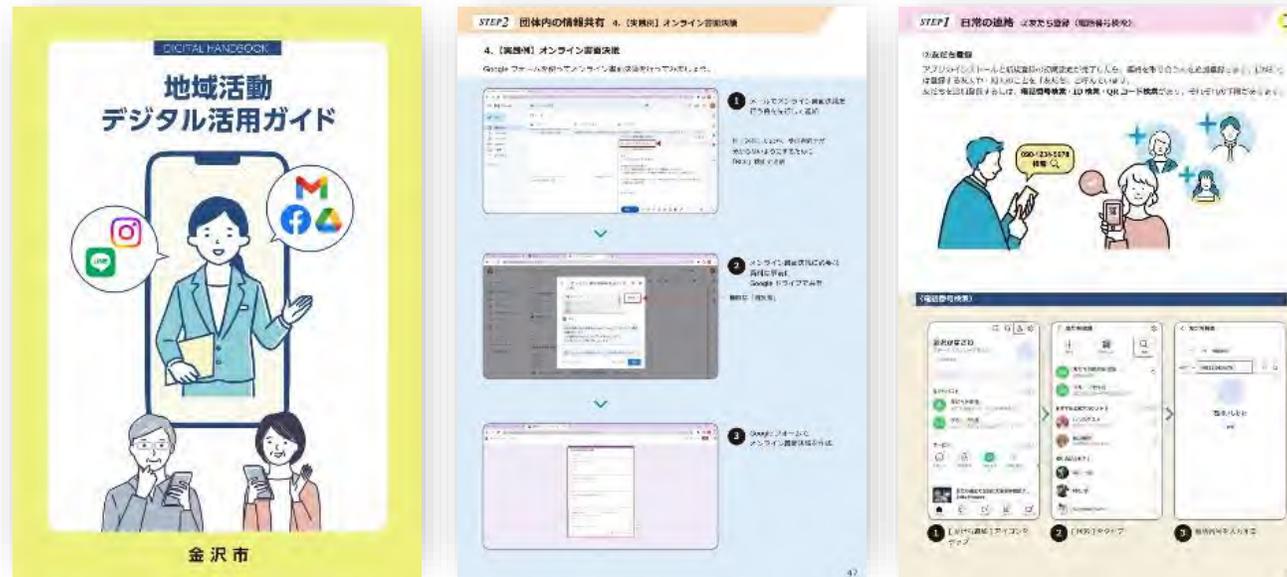


5.その他事業：市民活動DX推進事業

地域活動のDXに資するため作成した「地域活動デジタル活用ガイド」を活用して「地域デジタルリーダー養成講座」を展開することで、地域団体のデジタル化を推進する。

地域活動デジタル活用ガイド（令和4年度作成・公開）

LINEやZoom、Googleドライブ等の基本的な操作方法や、実践例としてオンライン書面決議等の開催方法について記載



5.その他事業：市民活動DX推進事業

地域デジタルリーダー養成講座

地域デジタルリーダーを養成し、町会等の負担軽減と若い世代の町会活動への参加を促進

全体講座

(LINE・Googleフォーム講座)

地域デジタルリーダー養成講座

こんな方にオススメ！

- ✓ 地域活動に参加している
- ✓ 業務を効率化したい
- ✓ 無料ツールを活用したい
- ✓ ネットと併用したい

7/3 水 9 火 会場 長土堀青少年交流センター大集會室

7/3 (水) 14:00 - 16:00

LINEでグループ内での普段の連絡を効率化！

- ・メッセージアプリ「LINE」の基本的な使い方
- ・グループ内での連絡を簡単かつ即時伝達
- ・新機能「グループキャスト」の活用方法も！
- ・グループ通話もOK

7/9 (火) 14:00 - 16:00

Googleフォームで
出欠確認やイベント申込、アンケートを効率化！

- ・集計がとにかく簡単、楽々
- ・集計結果が一目でわかる
- ・用紙やFAXが不要 ペーパーレス&コストダウン

詳細・申込方法

Q 金沢市 地域デジタルリーダー

金沢市 市民協働推進課
076-220-2026 kyoudou@city.kanazawa.lg.jp

ステップアップ講座

(ChatGPT入門講座)

参加無料

地域活動のための
ChatGPT 入門講座

町会活動・市民活動を
もっと効率的、創造的にアップデート！

これからの時代の仕事のパートナー「生成AI」
今回は誰でも無料で使える「ChatGPT」の
使い方を初心者の方でも分かりやすく解説します。

イベント企画
テーマ決めから準備用品までアイデア出し！
文章作成・要約
ちょっとした文章の下書き、議事録の要約も！
広報資料作成
広報文の作成、イラストの画像生成も！

令和7年2月26日水

時間 14:00～16:00
会場 長土堀青少年交流センター
学習室2 (長町3丁目3-3)
講師 石川京子氏
金沢市市民活動サポートセンター
外部アドバイザー (ICT分野)
対象 町会活動・市民活動
に取り組まれている方

申込はこちら

【問合せ】
金沢市市民協働推進課
kyoudou@city.kanazawa.lg.jp
076-220-2026

【詳細】
検索もしくは二次元コードから
地域デジタルリーダー養成講座

※その他、出前講座も実施

(希望内容で講師を派遣)

